

会報 エコネットはんのう

編集・発行／はんのう市民環境会議

生活環境部会 緑のカーテン事業

ゴーヤを使ったレシピを募集します！



エネルギーを使わない暑さ対策として「緑のカーテン」を普及するため、今年もゴーヤの種を一般の方も含め 200 名以上の方に配布しました。また、5月下旬に蒔いたゴーヤが6月初めに発芽し、市役所や区画整理事務所、診療所など公共施設に配布しました。

今回は、緑のカーテンから出来たゴーヤをおいしく食べるためのレシピを募集します。ゴーヤはビタミンCが豊富で、夏バテ防止に効果があると言われています。今年の夏はゴーヤを食べて、夏を元気に乗り切りましょう！

対 象：会員、市内に居住している方、市内に所在する事業所・団体の方

応募方法：様式は問いません。郵送、FAXまたはEメールにて、はんのう市民環境会議事務局（環境緑水課）までお送りください。

募集締切：平成 24 年 7 月 27 日（金）

環境月間事業へのご協力ありがとうございました

今年も飯能市環境衛生推進協議会と市との共催により以下の事業を実施し、たくさんの方の方や事業所・団体にご協力いただきました。

○まちなか清掃活動 6月17日（日）

飯能駅と東飯能駅周辺でポイ捨てごみを収集しました。72名の方が参加し、30kgのごみが集まりました。

【協力事業所・団体】

- ・(株)ニットー冷熱製作所
- ・(有)飯能清掃センター



○事業所による清掃活動

それぞれの事業所周辺の清掃を行いました。

【協力事業所・団体】

- ・水ing(株)
- ・(株)ニットー冷熱製作所
- ・(有)飯能清掃センター
- ・JFE ミネラル(株)武蔵野鋳業所

○不法投棄防止活動

「不法投棄は許しません」のボディパネルを車両に貼付して、啓発を行いました。

【協力事業所・団体】

- ・(有)飯能清掃センター
- ・(株)椿本チエイン

平成24年度定期総会を開催

今年のテーマ『はんのうの環境づくりを安全・安心の視点から再スタート』

6月3日（日）に市民会館小ホールを会場に、本橋飯能副市長、松橋市議会副議長を来賓に迎え、平成24年度定期総会が開催されました。

65名の方が出席し、平成23年度の事業報告、収支決算の承認に続き、役員の改選として16名の方が再任され、4名の方が新任されました。また、平成24年度の事業計画(案)、収支予算(案)を審議し、全ての議案について原案どおり議決されました。

会場のホワイエでは各部会等の活動のパネル展示を行い、外では廃てんぷら油の回収を行いました。



○役員の改選により次のとおり役員が決まりました

- | | | |
|-------|------------------------------|-------------------|
| ・運営委員 | 20名（敬称略） | |
| 会 長 | 木川 一男（市民） | 中村 順司（飯能市自治会連合会） |
| 副会長 | 伊藤 知夫（市民） | 西久保信夫（市民） |
| 委 員 | 高沖 義則（市民） | 中川 淳（飯能商工会議所） |
| | 南林さえ子（駿河台大学） | 山崎 英夫（飯能市商店街連盟） |
| | 小久保雅章（飯能青年会議所） | 町田 儀明（飯能市農業青年会議所） |
| | 小池 昇（西川広域森林組合） | |
| | 浅野 正敏（NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会） | |
| | 鴫田 節男（飯能市合併処理浄化槽組合） | 小林 律夫（有飯能清掃センター） |
| | 小池 重彦（新電元工業株） | 高柳 一彦（株丸広百貨店飯能店） |
| | 市川 光一（株椿本チエイン） | 中村 和久（株ニットー冷熱製作所） |
| | 古島 照夫（入間漁業協同組合） | 和泉由紀夫（飯能ケーブルテレビ株） |
| ・監 査 | 2名（敬称略） | |
| | 早瀬あかね（市民） | 間邊 元幸（市民） |

○事業計画、予算のあらましをお知らせします

（1）活動目標（全文）

本会は飯能市環境基本計画の推進に向け、中心的に進める団体として平成15年11月に発足し、以来、今年度は9年目を迎えます。これまで、飯能市における環境に関する現状の把握から始め、行動を起こし、活動の環を広げてきました。本年度は第2次飯能市環境基本計画の見直しの年であり、活動の充実を図るため部会員募集を行いました。こうした飯能市の現状における環境を踏まえながら新たな発想による事業展開をしていくため、本年度のテーマを「はんのうの環境づくりを安全・安心の視点から再スタート」とします。

今まで培ってきた他団体等との連携を更に深め、情報交換や交流を活発に進めます。天覧山谷津の里づくりは、天覧山から多峯主山一帯の保全構想をまとめた上でその位置づけを明らかにし、魅力あるモデル的事業として多方面の事業者、団体へのPRを積極的に進めます。



その他、各種事業において、協力団体との協働を進めながら、それぞれが生活スタイルの見直しの意識を持って参加できるよう努めます。また、昨年の東日本大震災の影響を受け、放射線の問題が問われています。はんのう市民環境会議の趣旨に基づき、市民、事業者、行政の協働により、市民の「安全・安心」を基本とした活動を行います。

活動状況について、定期的な会報・予定表の発行、ホームページの更新などで情報を提供しPRしていきます。

(2) 収支予算

今年度の収支予算を1,044千円とし、天覧山谷津の里づくりプロジェクト事業や部会活動、会報の発行、イベント等を行います。

(3) 各部会等の活動計画

各部会の平成24年度における活動内容をご紹介します。

会員の皆さんは、どの部会の活動にも参加できます。皆さんのご参加をお待ちしています。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

飯能市森林文化都市宣言推進事業計画に基づき、市民、事業者、行政の協働による取り組みとして「谷津田の再生・活用」の事業を部会合同会議との連携を図りながら進めます。また、会員同士の交流と情報共有を深めつつ、保全の意識を持って活動を進めます。

- 1) プロジェクト会議の開催
- 2) 毎月1回定例作業と交流会 ※原則として第4日曜日の午前
- 3) 里山復活祭の開催(1回)
- 4) 部会合同会議との連携
- 5) 天覧山谷津周辺の動植物図鑑及び生息マップづくり
- 6) その他谷津田再生・活用と自然環境保全に関する事業



《放射能関連プロジェクト》

事業内容は、市民・事業者・行政の協働で行う放射能についての調査等、今後、プロジェクトチームにより検討し、活動の方向付けを行います。

《自然環境部会》

自然環境部会では、自然環境保全への意識を持って市民、事業者、行政の協働による取り組みを進めます。

- 1) 毎月1回定例会議(部会合同会議)の開催
※原則として第4木曜日の午後7時から9時まで
- 2) 天覧山谷津の里づくりプロジェクトへの協力と提案
- 3) 天覧山・多峯主山一帯の保全計画提案
- 4) 自然と親しむ交流会の開催
- 5) 自然観察会の開催
- 6) 自然環境講座、シンポジウム等の開催
- 7) 飯能河原周辺水辺再生事業の検証
- 8) その他自然環境に関する事業



自然観察会の様子

《生活環境部会》

生活環境部会は、日常生活に関する身近な環境問題に取り組んでいきます。小さなことから一人ひとりが日々の生活の中で環境に配慮した行動を進め、大きな輪となっていくことが環境に与える負荷の低減に繋がるよう、次の事業に取り組めます。

- 1) 節電・地球温暖化防止活動の実施
 - ・緑のカーテン事業の実施
 - ・エコライフDAYの協力
 - ・他団体との協働による活動の実施
- 2) 美化活動の実施
 - ・まちなか清掃活動
- 3) ごみの減量に関する取り組み
 - ・生ごみの自家処理に関する研究
 - ・マイバッグ運動の推進



緑のカーテン

《地球環境部会》

地球環境部会は、平成 24 年度より新たな活動を開始します。東日本大震災の体験を教訓に、飯能の地域に適応した地球環境活動を目指し、次の事業に取り組めます。

- 1) 再生可能エネルギーの調査・研究
 - ・薪ストーブ、木炭の利用
 - ・小水力発電の復活
 - ・太陽光発電の利用
- 2) 地球温暖化防止活動の実施
 - ・スマートライフや省エネ、エコな暮らしの調査・研究
 - ・他団体との協働によるチーム作り

環境映画会「ライフ」上映

総会終了後、6月の環境月間事業として、動物と同じ目線で驚きの世界を描いたドキュメンタリー映画を上映しました。

上映前に、天覧山谷津の里づくりプロジェクト・自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会の活動紹介を行い、はんのう市民環境会議の活動をPRしました。

約240名の方が鑑賞しました。



放射線に関する講演会の開催

6月の環境月間事業として、放射線被ばくについての正しい知識（内部被ばく、外部被ばくの正しい知識、今後の健康への影響）を演題に、独立行政法人 放射線医学総合研究所研究基盤センター研究基盤技術部 主任研究員 宮原信幸氏にご講演いただきました。出席者は66名でした。

3月～6月の部会活動報告



《自然環境部会》

○自然観察会「早春の草花観察会」の巻 3月11日（日）

早春の天覧山周辺で、シュンランなどを探しながら春の息吹を感じる観察会でした。

講師：原田恵子（森林インストラクター）、黒住浩次（(財)埼玉県生態系保護協会会員）

○自然観察会「新緑の里山を歩こう」の巻 5月13日（日）

新緑の薫る天覧山周辺を植物観察や野鳥の声を聞きながら散策。生命感溢れる里山の息吹を感じることが出来ました。

講師：市川和男（(財)日本生態系協会調査専門員）

○自然環境部会会議 6月11日（月）

天覧山谷津田再生プロジェクト、天覧山～多峯主山一帯の整備・保全の方針の検討、入間川水辺再生事業計画、講演会・交流会開催などについて話し合いました。

○自然観察会「ホタルのタベ」の巻 6月24日（日）

ホタルの生態をレクチャーしてから天覧入りホタルの里へ。天候によりホタルの発生が遅れぎみで、今回は10数頭の確認でした。

※いずれも「NPO 法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」との共催

《生活環境部会》

○生活環境部会会議 5月15日（火）

緑のカーテン事業でのゴーヤのレシピの募集や、生ごみの自家処理などについて話し合いました。

○生活環境部会会議 6月17日（日）

美杉台中学校において、生ごみ自家処理の実験を行うことが決まり、皆で情報を共有しました。



生ごみ処理容器の試作品

《地球環境部会》

○森のようちえん事業 3月28日（水）、4月25日（水）

園内を整備しました。

※今後、森のようちえん事業は、はんのう市民環境会議の活動としては実施しませんが、「美杉森づくりの会」の事業として継続して実施されます。興味のある方は、市役所子ども家庭課までお問い合わせください。

○地球環境部会会議 6月11日（月）

今後の活動について話し合ったほか、再生可能エネルギー、木材の活用、小水力発電などについて情報を共有しました。

《部会合同会議》

3月22日（木）、4月26日（木）、5月24日（木）、6月28日（木）

各部会の平成23年度事業計画などについて、話し合いました。

《全体事業》

○飯能新緑ツーデーマーチ 5月19日（土）、20日（日）

クリーンウォークのブースを担当し、ウォーカーへゴミ袋などの配布を行いました。

《天覧山谷津の里づくりプロジェクト》

3月25日（日）

あぜ道づくり、植樹などを行いました。
参加者は21名でした。



あぜ道づくりの様子

4月22日（日）

田ならしや草刈などを行いました。参加者は25名でした。



作業後の話し合いの様子

5月27日（日）

田植えをしました。32名が参加しました。



田植えの様子

6月24日（日）

鎌の使い方などを講習した後、草刈りをしました。参加者は23名でした。



草刈りの様子

編集後記：

環境月間行事の一つとして開催された「放射線に関する講演会」に参加して、市民の皆さんの関心の高さを再認識しました。

今回「放射線の基本的な知識」や「放射線防護の考え方」について詳しく説明があり、受講された皆さまは、放射線に対する理解が更に深まったことと思います。

「福島第一原発」の事故以来、無関心では居られない問題ではありますが、これの対応には大きな個人差があります。

各人の価値観の違いによるものですが、その前提として一人ひとりが公平に判断し、そして行動するチカラを持つことが必要ではないでしょうか。

（広報委員長：伊藤知夫）